



医療機器物流情報プラットフォーム ご紹介資料

2022年11月10日(木)

医療機器物流情報プラットフォーム協議会

一般社団法人 米国医療機器・IVD工業会

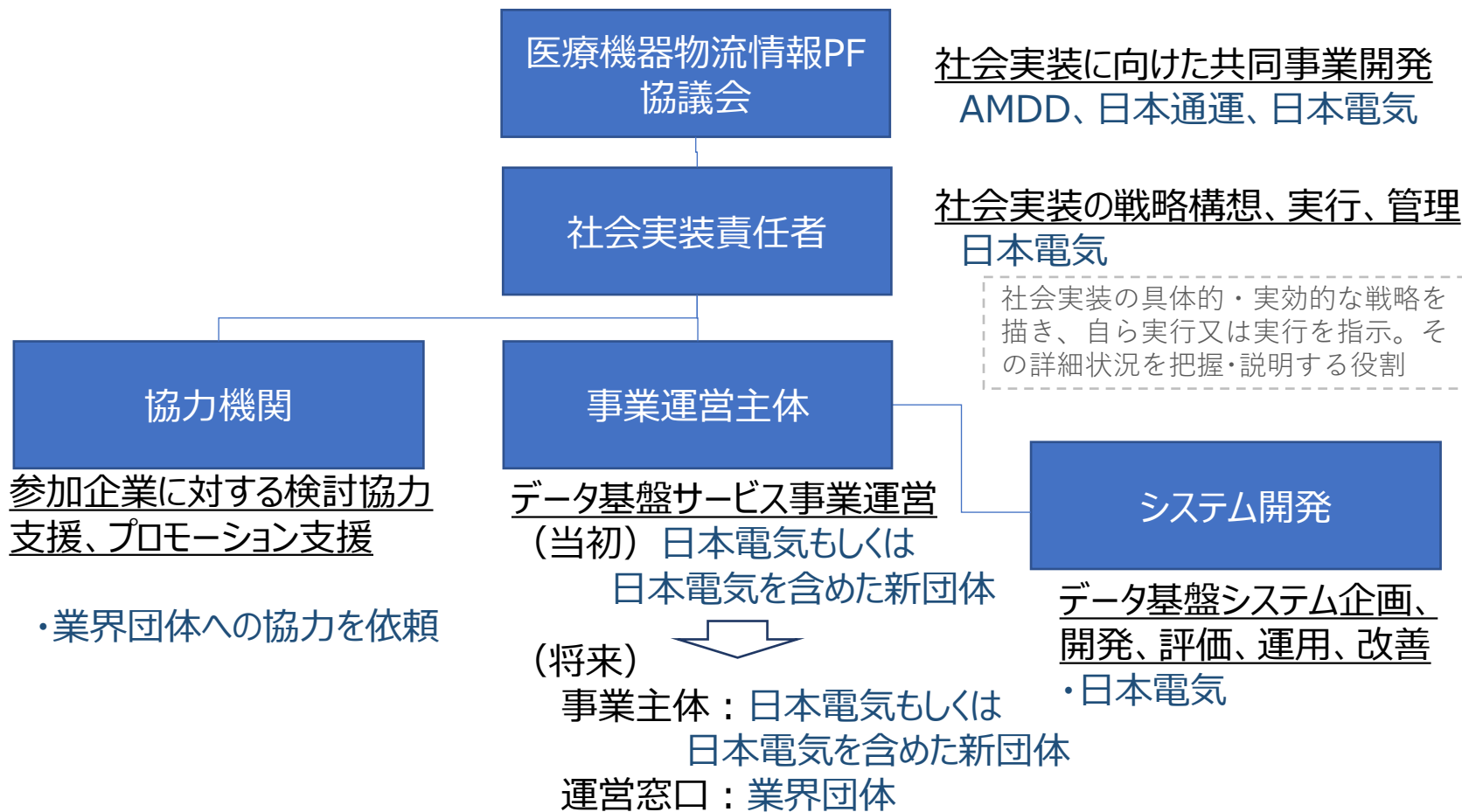
日本通運株式会社

日本電気株式会社



組織体制

AMDD、日本通運および日本電気からなる医療機器物流情報プラットフォーム協議会による共同での意思決定および強力なサポートのもと、日本電気が社会実装責任者として、事業化、および研究開発活動を推進する。社会実装に向けて、各業界団体の協力を依頼する。



医療機器物流情報プラットフォームの構想・ビジョン

医療機器の安定供給と物流業務の負荷軽減を実現する
情報流通プラットフォームとなることを目指す。

メーカー視点

- 流通/貸出在庫の可視化、返却～再出荷業務の効率化
- 預託品の運用効率向上、滅菌切れ廃棄の抑制

販売代理店 視点

- 在庫/納品/返却時の検品作業の効率化
- 病院への配達・納入作業の効率化

サプライチェーン 視点

- 短いリードタイム「発注～納入」への対応
- 物流の効率化を支える情報基盤活用

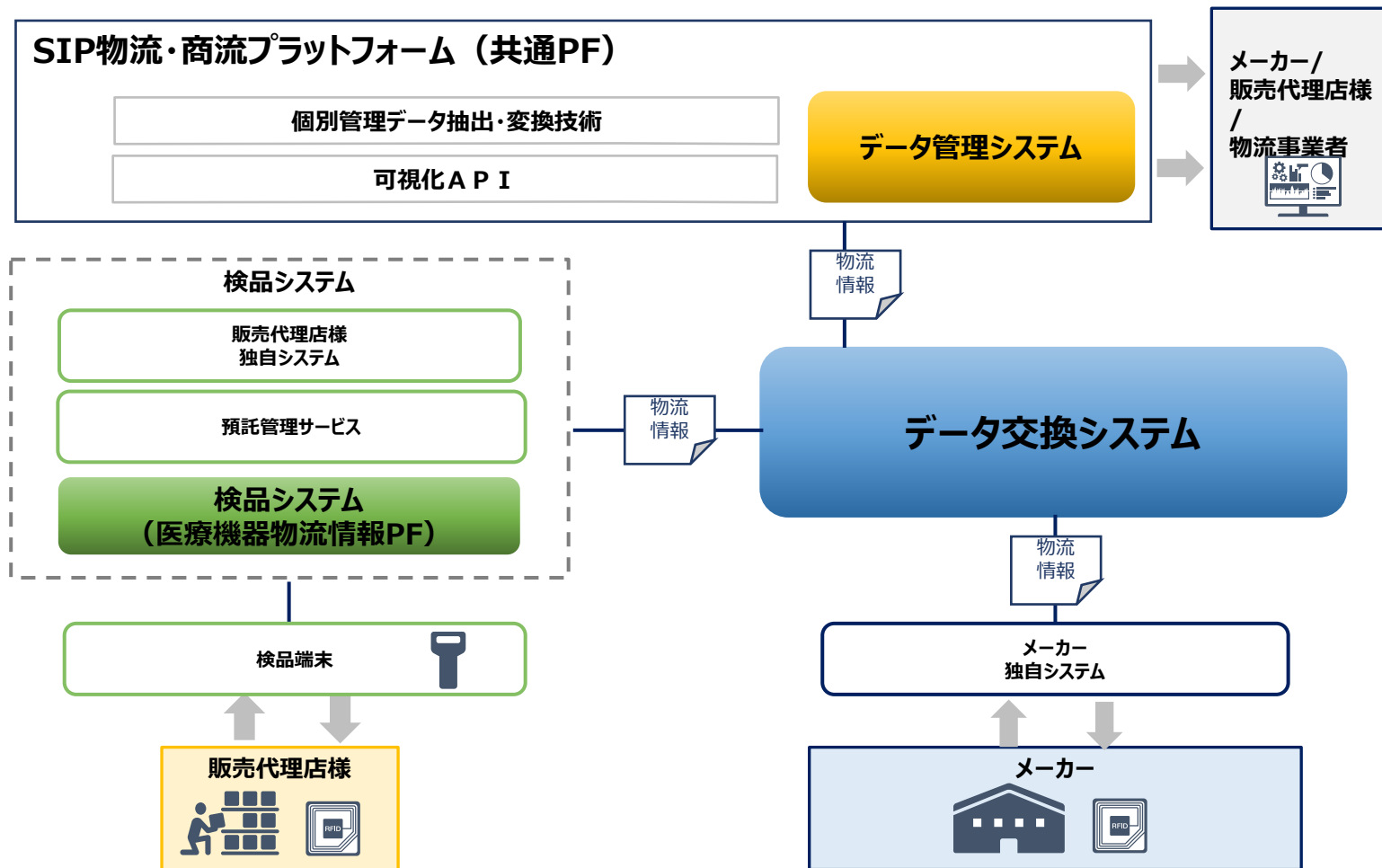
社会視点

- 命に関わる医療機器の安全性確保と安定供給
- 医療機器の流通の高度化と効率改善、
物流クライシスの回避

医療機器物流情報プラットフォームの構成・機能

医療機器物流情報プラットフォームは、メーカー～販売代理店（+医療機関の現場）間の、**モノの流れの効率化に資するデータ提供・交換機能を提供。**

メーカーとのデータ交換、検品業務の効率化、およびPFデータを活用して、物流業務の効率化、共同化に活用頂くことを想定。



実現サービス概要

プレリリースでは、**メーカー出荷データ提供**できるシステム基盤を構築、本リリースで、**使用実績情報提供、検品機能と物流情報見える化**をできる基盤に拡張する。

ご提供範囲

SIP物流・商流プラットフォーム（共通PF）

要素基礎技術「個別管理データ抽出・変換技術」

データ管理システム

DB

- 【医療機器物流情報可視化アプリケーション】
- 物流データ交換システム連携
- 共通コード変換
- 物流情報見える化

物流情報

ご提供範囲

物流データ交換システム

預託管理システム

- 【物流データ交換システム】
- メカ出荷情報収集
- 販売代理店、病院納品予定情報の作成
- 返品予定情報の作成

出荷予定

返品予定

入荷予定

入荷実績

返品情報

入荷予定

入荷実績

返品情報

預託管理サービス

検品システム
(BC/RFID対応)

検品システム
(BC/RFID対応)

- 【RFID検品システム】
- RFID R/W IF
- RFID検品、SGTIN収集

RFID R/W Mng

RFID R/W Mng

医療機器メーカー

RFIDの貼付・
出荷検品



医療機器販売代理店

入荷検品

出荷検品

SGTIN

SGTIN



病院

入荷検品

使用チェック

SGTIN

SGTIN

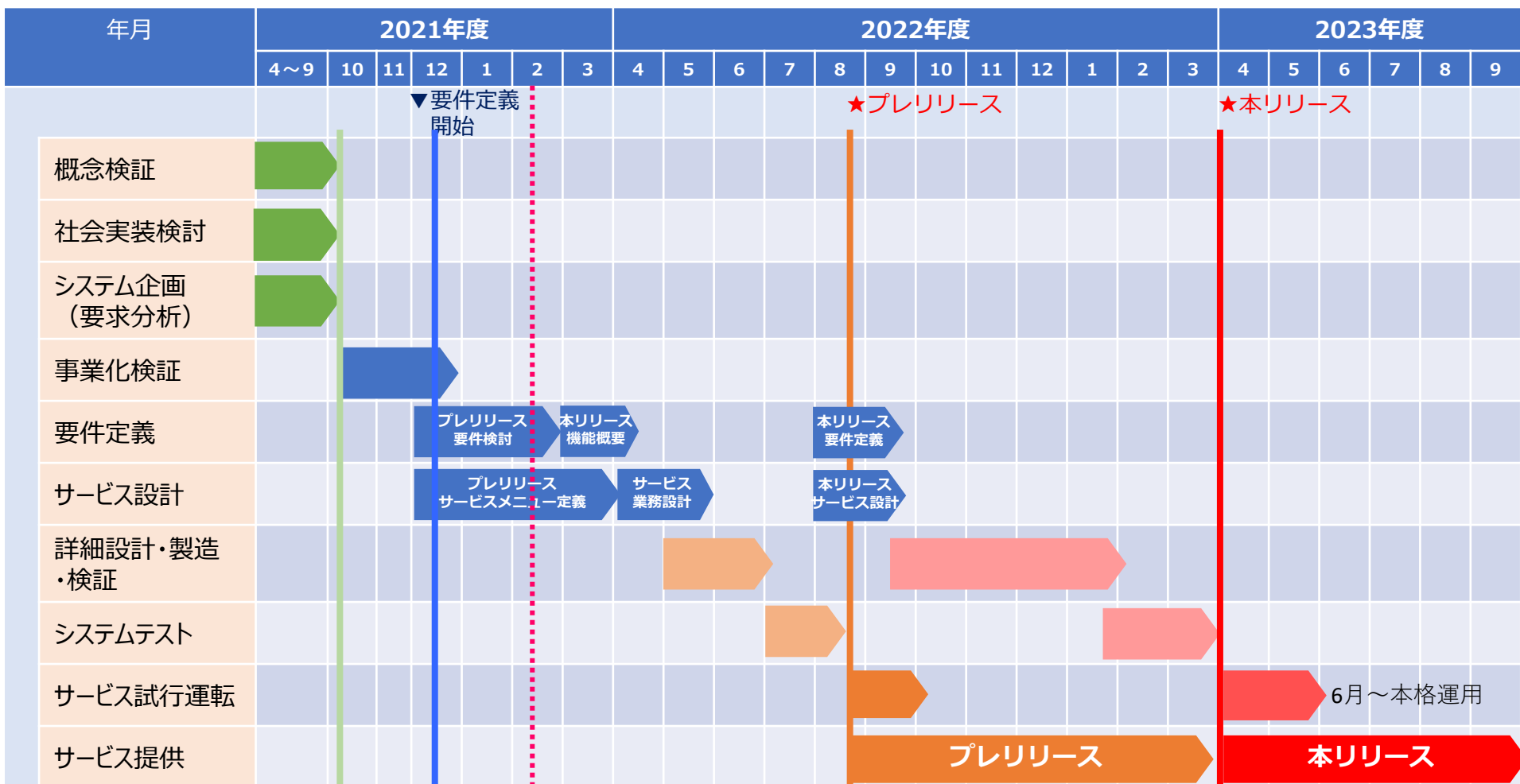


- RFID R/W
- RFID GATE
- RFID HHT

ユーザー様にてご準備

事業化計画スケジュール

2022年8月 プレリリース、2023年4月 本リリースを目標に事業化検討



ご提供予定サービス内容

**基本サービスとして「データ提供システム」を先行リリース。
今後、「データ管理サービス」と、オプションとして「検品システム」の提供を予定**

サービスメニュー		主な提供機能
プレリリース	基本サービス	データ提供システム 【メーカー】：出荷予定情報の登録 【販売代理店様】：入荷予定情報の取得 【共通】 ・アクセス制御、ファイル送受信履管理、突合 ※各社システムからの情報入力、データ基盤からの取得情報の取り込み、各社システムからのファイル出力、データ基盤への登録機能は含まれない
		データ交換システム 【メーカー】：使用実績・返却予定情報の取得 【販売代理店様】：メーカー返却予定情報の登録
本リリース (予定)	データ管理サービス	物流情報可視化 ・標準コード変換、コード変換台帳の作成、統合データの管理、可視化 ※各社システムとの連携（共同配送、共同倉庫運営のため）は含まれない
	オプションサービス	検品システム ・入出荷商品の検品（入荷・出荷予定情報との突合） ・使用実績登録（使用された／返却される商品情報の登録） ・使用済商品の検品（使用実績情報との突合） ※RFID読み取りのための設備・機器は含まれない

医療機器物流情報プラットフォームの活用メリット

各ステークホルダーの皆様にとって、以下のようなメリットがあると想定。

サービスメニュー	メーカー様	販売代理店様	物流事業者様
データ提供システム	<ul style="list-style-type: none"> 販売代理店への出荷情報のデジタル化/一元化による提供手続き簡素化 販売代理店からの出荷に関する問い合わせ業務の削減 	<ul style="list-style-type: none"> メーカーの入荷予定情報のデジタル化/一元化による入手手続き簡素化 出荷データを活用した検品作業効率化 ※自社システムや将来の預託管理サービスとの併用を想定 	—
データ交換システム	<ul style="list-style-type: none"> 早期の使用実績/返却データ把握による再出荷準備作業の平準化 デジタル化された返品データ入手によるより正確な流通在庫状況の把握 	<ul style="list-style-type: none"> メーカーへの使用実績/返却情報デジタル化による提供手続き簡素化/早期化 メーカーからの使用実績/返却に関する問い合わせ業務の削減 	—
データ管理サービス (物流情報可視化)	<ul style="list-style-type: none"> 現場での使用実績情報の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 販売代理店間での共同物流検討のベース情報として活用可能 	<ul style="list-style-type: none"> 共同配送、共同倉庫提案のベース情報として活用可能
検品システム	—	<ul style="list-style-type: none"> 検品作業効率化（時間短縮） 使用実績の基幹システム連携検討による実績データ登録業務の軽減 デジタル検品による属人的な業務スタイルからの脱却（人手不足対策） 	—
その他		<ul style="list-style-type: none"> メーカー貼付RFID活用による中間タギング業務の削減 	
全般	配送業務効率化による CO2削減への貢献		

展開予定スコープ

SIP2期(2023/3月まで)ではRFIDのメーカー貼付が進んでおり、検品業務負荷が高いと考える「整形の短期預託」領域にて機能をリリースする予定。

以降、業界内のご協力やご要望により、長期預託、あるいは循環器等への展開を図っていくことを想定各ステークホルダーの皆様にとって、以下のようなメリットがあると想定。

- ① 大手でRFID貼付が進展し、物流LTの切迫性の高い「整形」の短期預託を対象に立上げ
- ② 1-2年後にRFID貼付の開始が予想される「循環器」分野や、長期預託領域への展開
- ③ 他の診療分野の機器や、買取品への拡大を図りたい

他診療科			
循環器			
整形			
	短期預託	長期預託	買取

お問い合わせ先

日本電気株式会社

ロジスティクスソリューション統括部 第一インテグレーショングループ

(担当：佐々木、熊木)

E-mail : medicaldevice_pf@logi.jp.nec.com

TEL : 03-3456-3557